

Royal Wedding

最高のウエディングを
西脇ロイヤルホテルで叶える

お二人の新しいスタートを「アピカ西脇ロイヤルホテル」で。
当ホテルでは、ご結納から挙式、二次会パーティー、
ご宿泊までトータルウエディングを演出する施設と、
お二人の夢を叶える多彩なウエディングプランをご用意しております。
ブライダルサロンまで、ご相談ください。

Prier ~ブリエ~

¥258,000 (税・サービス料込)

プランに含まれる内容
チャペル挙式料(キリスト教式・人前式など)
新郎新婦衣裳(新郎1点・新婦1点)
美容着付
新郎新婦着替え室
ブーケ・ブートニア(アートフラワー)
記念写真2ポーズ2枚

Venus Patio ~ビーナスパティオ~

50名様 ¥1,250,000 (税・サービス料込)

お一人様追加 ¥20,000 (消費税・サービス料込)
期間/2009年3月1日~2010年3月31日

ご披露宴会場には珍しい黒を基調にセッティングし、
新郎新婦のお席を明るいホワイトにコーディネート。
お二人の記念日を華麗なる式典で彩ります。



アピカ NISHIWAKI ROYAL HOTEL
アピカ 西脇ロイヤルホテル

〒677-0015 兵庫県西脇市西脇991 TEL. 0795-23-2000 (代)
☎0120-61-8033 駐車場完備 1泊500円(1台分)
<http://www.nishiwaki-royalhotel.jp/index.html>

アピカホール・ホールガイド ボタントン

Vol.53
2009.
7月~9月



第19回「アピカ・フレッシュコンサート」 2009年4月19日 アピカホールにて

西脇市立音楽ホール
アピカ
アピカホール

チケット発売中

2009/8/30(日) 第106回しばざくらコンサート
県民芸術劇場

全席自由 心に響くハーモニー
~神戸市混声合唱団~

午後2時開演(午後1時30分開場)
一般2,000円・高校生以下1,000円
(当日各500円増)

8/8(土) チケット発売開始

2009/11/27(金) 第109回しばざくらコンサート
足立さつき

全席指定 ソプラノリサイタル

午後7時開演(午後6時30分開場)
一般3,000円・高校生以下1,500円
(当日各500円増)

7/4(土) チケット発売開始

2009/9/27(日) 第107回しばざくらコンサート
~ジャンルを越えた
魂の歌~

全席指定 **MASSA**
世界を旅する心の音楽

空間を旅する3つの心が
"MASSA"という音楽になった。
情熱的で温かく
ロマンチックでパワフルな
MASSAの音楽をアピカホールで
体感してください。

午後7時開演(午後6時30分開場)
一般2,000円・高校生以下1,000円
(当日各500円増)

2009/10/6(火) 第108回しばざくらコンサート
アンサンブル・ラロ

全席自由 **ピアノ四重奏団**

~ヘーデンボルク・直樹率いる
若きヨーロッパの精鋭たち~

午後7時開演(午後6時30分開場)
一般3,000円・高校生以下1,500円
(当日各500円増)





8/30(日)
(14:00~)

第106回しばざくらコンサート・県民芸術劇場
「心に響くハーモニー」
～神戸市混声合唱団～

神戸市混声合唱団が設立
20年の記念の年になり、
縁あって西脇市立音楽ホール
「アピカホール」でコンサート

をすることになりました。

今回の公演では、まず第1部に世界の歌と題してヨーロッパの名曲から時代を超えた3曲の作品をお聴きいただきます。ワルツ王と呼ばれるオーストリアの作曲家ヨハン・シュトラウスの「トリッチ・トラッチ・ポルカ」。軽快なリズムにのって、陰口の広がりを楽しんだ歌です。続いてイタリアルネサンス期の作曲家ラッソの作品「おお楽しきこだまよ」。合唱が2つに分かれて本物の山彦のようにエコーの妙を音楽で表現します。再びオーストリアの作曲家ブルックナーの「アヴェ・マリア」。教会の大伽藍を思わせる重厚な響きが印象に残ります。

後半は、イギリスの現代作曲家ジョン・ラターの「パースデー・マドリガル」からの3曲の抜粋です。ラターは、クラシックだけではなく映画音楽などにも優れた作品を発表していますが、友人のジャズピアニストの誕生日に作曲したこの組曲は、様々なジャンルの音楽に通じた彼ならではのヴィヴィッドな雰囲気作品です。ダブル・ベースのサポートが入り、よりジャズの味わいを醸し出しています。

第2部では、日本の歌をお聴きいただきます。まず最初は、源田俊一郎編曲による「ふるさとの四季」です。四季折々の風景や

情感を織り込んだ懐かしい日本のメロディを、メドレーによるバランスの取れた混声合唱に編曲されています。これらの歌は、日本語の美しさ、日本の風物の素晴らしさを歌から見つめなおすことのできる時間を与えてくれます。

続いて皆さんからのリクエストによる「涙そうそう」「手紙」です。「涙そうそう」は、森山良子とBIGINの共作を夏川りみのカバーで大ヒットした作品。また「手紙」は、昨年NHK学校音楽コンクールの課題曲として、アンジェラ・アキ作詞作曲で現在もなおヒット中の注目の作品です。

最後はみなさんおなじみの永六輔作詞、いずみたく作曲「見上げてごらん夜の星を」「上を向いて歩こう」と美空ひばりの名曲「川の流れのように」の3曲をお送りします。

最後の第3部では、オペラの名曲から3つのオペラの名場面をお楽しみいただきます。イタリアオペラの大作曲家ヴェルディの歌劇「椿姫」より有名な「乾杯の歌二重唱」。モーツァルトの最後のオペラ「魔笛」より楽しい「パパパの二重唱」、そしてヴェルディの歌劇「ナブッコ」より「我が思いは金色の翼に乗って」。豊かな旋律美とともにイタリアオペラの雰囲気味わっていただきます。

以上3部構成による神戸市混声合唱団の魅力あるコンサートを十分に楽しんでいただきたいと思います。みなさんと会える日を楽しみにしております。

指揮者 本山 秀毅



9/27(日)
(19:00~)

第107回しばざくらコンサート
～ジャンルを越えた魂の歌～
「MASSA」世界を旅する心の音楽

初めまして。9月27日(日)にアピカホールでコンサートをさせていただきますMASSAの佐藤正治です。この大切な機会を創ってくれた皆さんに、心から感謝しています。

さて、話しが進んで行く前に、MASSAというグループのメンバーを紹介させて下さい。

MASSAは、佐藤正治(打楽器、ギター、ボーカル)、細井豊(キーボード、ハーモニカ、ボーカル)、太田恵資(バイオリン、ボーカル)の3人編成。それぞれが、音楽家、アーティストとして、日本国内はもちろん、世界中を旅してきました。

それぞれの場所にそれぞれの音。

街に溢れる様々なノイズ。

風に揺れる木々の音、打ち寄せる波の音。

それぞれの場所で出会う人たち。出会いによって生まれる新しい音たち。ロマンチックな音、暖かく優しい音。そして時に激情的な音。

耳を開けば、世界は素敵な音でいっぱいです。

それらは皆、美しいエネルギーの塊です。

出会ったエネルギー全てが、MASSAの音の源です。



佐藤 正治

それらはMASSAの中で育ち、音楽となって飛び立っていきます。

クラシック、フォークソング、ロック、ポップミュージック、民族音楽などなど、世界にはいろいろな音楽があります。

MASSAは、一つのジャンルにこだわることなく、ジャンルの壁をどんどん飛び越え、自由な音の会話を続けています。

MASSAは、2005年11月に結成して以来、月に数本のライブをコンスタントに続け、アルバム「MASSA1」を作り、お互いの音の会話に磨きをかけてきました。

メンバー皆が自由になることによるのみ、達成できるスケール感、大地のリズム、空駆けるバイオリン、色彩を操る鍵盤、そして、三つの声。MASSAの音楽は、情熱的で温かく、ロマンチックでパワフルです。

新しい場所で、皆さんに出会うことによって、進化するMASSAという生き物の音を、そして、世界中の音が、アピカホールで踊り出す瞬間を是非、体験しに来て下さい!!

素敵なコンサートを皆さんと一緒にすることが出来たら、幸せだと思っています。

佐藤 正治



細井 豊



太田 恵資

10/6(火)
(19:00~)

第108回しばざくらコンサート

「アンサンブル・ラロ ピアノ四重奏団」

～ヘーデンボルク・直樹率いる若きヨーロッパの精鋭たち～

こんにちは。今日は、ヨーロッパからはるばる来日するアンサンブル・ラロ（ピアノ四重奏団）の紹介をしたいと思います。メンバーは、ダイアナ・ケトラー（ピアノ）、アレクサンダー・シトコヴェツキー（ヴァイオリン）、ラズヴァン・ポボヴィッチ（ヴィオラ）、ヘーデンボルク・直樹（チェロ）の4人を中心とした実力派。ヨーロッパにおける室内楽の豊かな伝統と、革新的なアプローチとの融合を目指して、ヨーロッパ各地の音楽祭で活躍しています。メンバーそれぞれがソロとしての実力と実績をも備え、まさに今、世界中で高く評価され人気のあるアンサンブルなのです。今年ウィーン・コンツェルトハウス、NYカーネギーホールでのデビューも決まり、関西では2006年から神戸国際芸術祭のメインアーティストとして、活躍しています。

チェロを担当しているヘーデンボルク・直樹は、2004年のピアノとチェロのデュオ、2005年のキューピル・アンサンブル・ウィーンに続いて、これで3回目のアピカホール出演となります。お兄さんのヘーデンボルク・和樹はヴァイオリニストで、今年1月にここアピカホールの、しばざくらコンサートで「The Violinist（ザ・ヴァイオリニスト）～ウィーン・フィルのメンバーによる新春コンサート～」に出演しましたので、きっと皆様の記憶に新しいのではと思います。

さて、10月6日のコンサートでは、モーツァルトのピアノ四重奏曲第2番、プロコフィエフの「ヘブライの主題による序曲」、そしてタネーエフの

ピアノ五重奏曲をお贈りします。

モーツァルトは生涯に2つしかピアノ四重奏曲を書きませんでした。そのうちの一つ、ピアノ四重奏曲第2番は1786年に完成した曲で、大らかで明るい雰囲気が特徴です。プロコフィエフの「ヘブライの主題による序曲」は、ユダヤ民族音楽の旋律を用いた、クラリネット、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、ピアノによる10分程度の六重奏曲。1917年のロシア革命をきっかけに、日本を経由してアメリカに渡ったプロコフィエフが、ユダヤ人の室内楽団から依頼されて作ったのがこの曲です。今回は世界の第一線で活躍するイスラエル出身のクラリネット奏者ヒェン・ハレヴィ、神戸国際芸術祭でもおなじみの実力派ヴァイオリニスト川田知子を加えて演奏します。

タネーエフのピアノ五重奏曲は、約45分間の大曲ですが、繊細かつ力強い雰囲気に、聴き手はすぐに引き込まれることでしょう。タネーエフの名は日本ではあまり知られていませんが、あのチャイコフスキーに学んだ作曲家です。後にモスクワ音楽院の教授となり、ラフマニノフ、プロコフィエフなど、日本でもおなじみの音楽家たちの指導に当たった、ロシア音楽史上でも重要な人なのです。

アピカホールの音響と聴衆のすばらしさを熟知しているヘーデンボルク・直樹が、アピカホールに思いを馳せて構成したプログラム。必ず満足していただけたと思います。どうぞお聴き逃しなく！

神戸大学 異文化研究交流センター 研究員
近藤のぞみ（芸術文化社会学）

たに

タゴ
ン
タゴ：エスペラント語・こんにちは



うかわ先生のおんがく談義 36話

モーツァルト・シューベルト理解に与えた 小林秀雄とアインシュタインの影響 —ある若い音楽家への書簡より(その1)—

小林秀雄とアインシュタインの件、たいへん遅くなってしまいました。小林秀雄とアインシュタインの2人に共通しているのは、普通、世間一般の人々が抱いているモーツァルト像、シューベルト像に対して、彼らが全く正反対の意見を述べているという点にあります。モーツァルトやシューベルトの音楽は、明るくつつきやすいというイメージを持っている人が多いのですが、それはあくまで表面だけで、その奥には底知れぬ深い深淵がポッカーリ口をあけているのです。

高2の時に、夏休みの読書感想文の宿題で、小林秀雄の『モーツァルト』を取り上げ、たいへん難しい内容でしたが、モーツァルトの音楽の本質は「走る悲しみ」にあるということが書いてあり、それまでそのようなことは考えたこともなかったのではと驚きました。

高3の正月には、NHKの第2放送で、小林秀雄、河上徹太郎、遠山一行の3人が音楽について語る番組があり(註1)、小林秀雄が主にシューベルトについて論じていました。交響曲第8(9)番ハ長調「ザ・グレート」について触れながら、「(シューベルトにとっては)人生はダメだったんだね」と小林が語っていたのが、今でもハッキリ耳に残っています。

そのあとすぐ、確か、河上徹太郎の音楽に関する評論文だったと思うのですが、それを通して、20世紀のドイツを代表する音楽学者のひとりであるアルフレート・アインシュタイン(1880~1952、相対性理論で有名な物理学者アルベルト・アインシュタインの1歳年下のいとこ。ケッヒル番号の改訂者として有名)に、モーツァルトとシューベルトに関する著作があることを知り、それらの著作を読むことによって、たいへん強い影響を受けるようになりました。アインシュタインは、楽天的なベートーヴェンと比較して、モーツァルトは、「はるかに厭世的で、断念をいだいた、幸福に恵まれない楽匠である」と述べていますが(註2)、これが、モーツァルトに対するアインシュタインの基本的な考え方であると言えるでしょう。

私は、関西学院大学大学院の文学研究科美学専攻で、谷村晃という音楽学者(京

都大学文学部哲学科美学美術史専攻を出たあと、ミュンヘン大学哲学部に留学し、ゲオルギーアース教授のもとで音楽学を学ばれました)から音楽学の指導を受けましたが、モーツァルトとシューベルトについての感じ方が、先生と私とは、かなり違うところがありました。先生は、明るく健康的な人生観の持ち主でしたので、モーツァルトやシューベルトの音楽が持つ暗い側面には、あまり関心を持っておられないようでした。従いまして、私の音楽学の実質上の師匠は、書物を通してしか接していませんが、アインシュタインであると言えるかもしれません。

特に、強い影響を受けたのは次の3つの著作で、私にとってはバイブルのような存在です。出版社は、いずれも白水社で、翻訳者は、浅井真男というドイツ文学者です。

- 「モーツァルト—その人間と作品—」
- 「シューベルト—音楽的肖像—」
- 「音楽における偉大さ」

2つの評伝、『モーツァルト』と『シューベルト』は、いずれも大著で、今では1万円近くするかも分かりませんが、私にとっては、これだけの深い内容を持った本が1万円では、とても安いように感じられます。「音楽における偉大さ」は、もしかしら今は絶版になっていて手に入らないかも知りません。いずれにせよ、作品や作曲家の本質を見抜くアインシュタインの洞察力の深さ、鋭さは、他の並の音楽学者や音楽評論家たちの比ではないということだけは、言うことができます。

註(1)昭和41年1月に放送された正月特別番組。評論家の小林秀雄氏と河上徹太郎氏の2人がゲスト出演。司会は、音楽評論家の遠山一行氏。

なお、番組中に、次の2曲が演奏された。

1. シューベルト 弦楽五重奏曲ハ長調D.956より第1楽章
ウィーン・コンツェルトハウス四重奏団、ヴァイス(第2チェロ)
2. シューベルト ピアノ三重奏曲第2番変ハ長調D.929より第2楽章
アドルフ・ブッシュ(ヴァイオリン)、ヘルマン・ブッシュ(チェロ)、ルドルフ・ゼルキン(ピアノ)

(2)アインシュタイン(浅井真男訳)『音楽における偉大さ』白水社186ページ

元同志社大学文学部講師(音楽学) 鶴川 真

催しガイド7月～10月 (2009年6月1日現在)

休館日：毎週水曜日（祝日の場合翌日）

月/日(曜)	催物内容	時間	入場料等	主催・問合せ
7/18(土)	ふるさとゆかりの演奏家シリーズ 「生田敦子&恵子 ピアノ・デュオinアピカ」	19:00～	〈全席自由〉 一般 2,000円 高校生以下 1,000円	アピカホール ☎0795-23-9000
7/19(日)	生田敦子&恵子 「こどものためのレクチャーコンサート」	17:00～	無料(要申込) (大人のみの入場不可)	アピカホール ☎0795-23-9000
8/2(日)	ピアノと箏の発表会	未定	無料	足立智真☎080-1439-7137 岡本ピアノ工房☎090-8984-3434 竹内さおり☎0795-25-2322
8/2(日)	第11回 「あなたが主役フェスティバル」	会場:西脇市民会館 9:30～	大ホール 無料 その他 有料	市民企画委員会 ^{ゼロ} 西脇市民会館 ☎0795-22-5715
8/9(日)	ヴァイオリン発表会 Study Concert	14:00～	関係者	山本佳代 ☎0790-42-0346
8/14(金)	西脇高校 第36回生 同窓会 式典	12:00～	関係者	代表 杉原 ☎090-2357-9697
8/22(土)	第13回 「リトルピアニストの大っきなコンサート」	午前の部10:00～ 午後の部13:30～	無料	アピカホール ☎0795-23-9000
8/30(日)	第106回しばざくらコンサート・県民芸術劇場 「心に響くハーモニー～神戸市混声合唱団～」	14:00～	〈全席自由〉 一般 2,000円 高校生以下 1,000円 (当日各500円増)	アピカホール ☎0795-23-9000
9/13(日)	認知症とともに	13:00～	無料	NPO法人デイホーム健々 ☎0795-24-1610
9/26(土)	宝くじ文化公演 はたまりこ 秦万里子コンサート	会場:西脇市民会館 14:00～	一般 1,500円 高校生以下 1,000円 (当日各500円増)	西脇市民会館 ☎0795-22-5715
9/27(日)	第107回しばざくらコンサート ～ジャンルを越えた魂の歌～ 「MASSA」世界を旅する心の音楽	19:00～	〈全席指定〉 一般 2,000円 高校生以下 1,000円 (当日各500円増)	アピカホール ☎0795-23-9000
10/6(火)	第108回しばざくらコンサート 「アンサンブル・ラロ ピアノ四重奏団」 ～ヘーデンボルク・直樹率いる若きヨーロッパの精鋭たち～	19:00～	〈全席自由〉 一般 3,000円 高校生以下 1,500円 (当日各500円増)	アピカホール ☎0795-23-9000

★主催者の都合により変更になる場合があります。内容についての質問は、各主催者までお問い合わせください。
★アピカホール主催の有料コンサートにご来館のお客様に限り、アピカ地下駐車場の3時間無料駐車サービス券をお渡しします。

編集後記

「20世紀のはじまり ピカソとクレーの生きた時代展」を美術館で鑑賞しました。
音楽と絵画、なかでもパウル・クレーの世界は音楽が聴こえてきます。
画家・クレーそして音楽家・クレーでした(それもそのはず、オーケストラのバイオリン奏者だったと知りました)代表作のひとつの「リズムカルな森のらくだ」という絵があり、じっくりみると、森は楽譜、その中にらくだがありました。記号のような森を音符にしたらどんな音楽になるのかなあ。なんて想像が膨らんできました。
さてこの号は、演奏者の方々から貴重な原稿をたくさん頂いています。
神戸混声合唱団の素敵な歌声、ジャンルの壁を越えて MASSA(マッサ)きっと五感に響くと思います。また、アンサンブル・ラロのお馴染みのヘーデルボルク・直樹氏も来西されます。皆様もどんな演奏か今から、わくわくされていることでしょう。
ほんと音楽っていいですね。辛いときや悲しいときにパワーが出てきて不思議です。もっといろいろな音楽と巡り合えたらいいなあって。。。アピカホールで皆様と音楽の出会いが生まれることを願っています。(GreN)

■編集：ポナンタゴン編集委員会
■発行：西脇市立音楽ホール「アピカホール」
2009年7月1日

各施設の案内は、(財)西脇市文化・スポーツ振興財団のホームページでご覧いただけます。
<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/>

このガイドは2009年6月1日現在の資料を元に編集しており、内容は変更される場合があります。無断での転載を禁じます。



アピカホールから

平成21年4月に「アピカホール」の館長として就任いたしました。実は平成11年4月から16年11月までアピカホールで仕事をさせていただいておりました。今回縁あって音楽ホールの仕事をまたさせていただくことになりましたが、初心に帰り精一杯努めさせていただきたいと思っています。

アピカホールは本格的なクラシックホールとして開館以来多彩なコンサートを実施してきました。今年も皆さんに楽しんでいただけるようこれからの催しとしてクラシックからポピュラーまで事業を組んでいます。特に気軽に仕事帰りにでも寄っていただけるようワンコインで聴ける「寄り道コンサート」や「リトルピアニストたちの大きなコンサート」「神戸市混声合唱団」「MASSA」「アンサンブル・ラロ」「足立さつきソプラノリサイタル」「アピカ・アンサンブルコンサート」などアピカホールならではのコンサートをぜひ楽しんでいただきたいと思います。皆さんもぜひアピカホールへ足を運んでいただきますようお願いいたします。

アピカホールは客席数「180」の小さなホールですが、市民ボランティアの皆さんに支えていただきながら「音楽」を親しみ、感動を分かち合える場としての提供や、次代を担う子どもの育成などを特に大事にしながら公共ホールとしての役割を果たしていきたいと思っております。

館長 齋藤 博史

クイズに答えてコンサートに行こう!

プレゼント



アピカホールの名称は、天に向かって伸びていく様と、西脇市が将来へ向けてまっすぐに発展するようにとの願いを込めて、エスペラント語から名づけました。アピカの意味はどれでしょうか?

①広々とした ②複雑な ③まっすぐな

- 正解者の中から第106回しばざくコンサート・県民芸術劇場「神戸市混声合唱団」、第107回しばざくコンサート「MASSA」、第108回しばざくコンサート「アンサンブル・ラロ」のチケットを各2名様合計6名様にプレゼントいたします。
- 応募方法：ハガキにクイズの答え(番号)、住所、氏名、年齢、電話番号、ご希望のコンサート名を明記の上、アピカホールまで郵送してください。7月27日(月)必着。当選者は発送をもって発表にかえさせていただきます。(Vol.52の答え②)

生田敦子&恵子

こどもたちを対象とした、連弾とお話の約1時間のミニコンサートです。

こどものための レクチャーコンサート

日時：7月19日(日) 午後5時開演(午後4時45分開場)
対象：西脇市在住又は市内でピアノを習っているこどもたち及び家族、指導者。

参加費：無料

参加方法：要予約(電話又はホール窓口でお申し込みください。)

※未就学児の入場も可能。(ただし大人のみ入場不可。)

音楽ってね~

伸びやかで、自由に羽ばたいているように見えるけど、実は、とても厳格な秩序によって構成されているんだ。例えば、ドレミの音程も作曲も演奏も、そして楽器製作も...でもね!ルールをしらなくてもその美しさに真摯に向き合うことにより自然とその厳格な秩序が現れて自由に羽ばたけるようになるのが超!素晴らしいね。

6/13(土)
映画

アピカ名画座 第2弾

「雨に唄えば」

見ました!
観ました!

久しぶりに古い映画をみました!!

I'm singing in the rain~♪

傘を回しながら、雨の中を踊るシーン。

きっと、誰もが見たたり、耳にしたことがあると思います。そう...「雨に唄えば」ですね。観たことがありますか??

「雨に唄えば」は、映画が無声の時代から、トーキーの時代に移行するときの出来事を描いた映画です。ミュージカル映画なのですが、全編ミュージカルというわけでもなく、とくに前半はあまりミュージカル映画という感じではありません。後半になるとミュージカル映画としての「雨に唄えば」が、濃くなっていきます。この映画、ストーリーはもちろん、劇中の歌とダンスとタップダンスが、スゴイ!!まるで、ショーをみているかのような約2時間。ジーン・ケリーが唄う有名な、「雨に唄えば」のシーンと、映画のラストでクチバク女優とヒロインが唄うシーンが大好きでした。この映画を観た後は、傘を回してスキップしちゃうはず。きっと、雨も楽しくなると思う映画でした。古谷 みどり

ISO 9001 認証

総合建設業・一級建築士事務所
国土交通大臣認定鋼構造物製作工場



和以貴建設

株式会社

〒677-0018 兵庫県西脇市富田町36

電話 西脇(0795)22-5651番代

FAX 西脇(0795)23-6291番

ヤマハピアノ・エレクトーン・電子ピアノ・管弦打楽器・楽譜

ヤマハ特約店 (株)北条楽器

加西市北条町横尾 ☎0790-42-0697

ヤマハ音楽・英語教室 生徒募集中!

ヴァイオリン・ピアノ・エレクトーン教室(個人レッスン)・大人向けレッスンも展開中!

西脇・社・小野・三木・北条・神崎・各センター教室にて只今、無料体験レッスン・見学会実施中!

Les Joyaux Daiichi

レ・ジュワイヨ大

貴品の輝きをあなたに



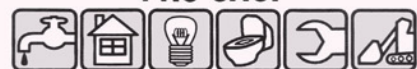
西脇市上野94-1 TEL.0795-22-2006
9:30am~8:00pm

http://j-daiichi.com

http://j-daiichi.com/i/ (モバイルサイト)



FUJICO PRO-SHOP



配管資材・建築資材・電設資材・各種工具・住宅設備機器 販売
オール電化・太陽光発電

(株)藤田幸三商店
TEL 0795-23-5995

(株)JPコーポレーション
TEL 0795-25-0100

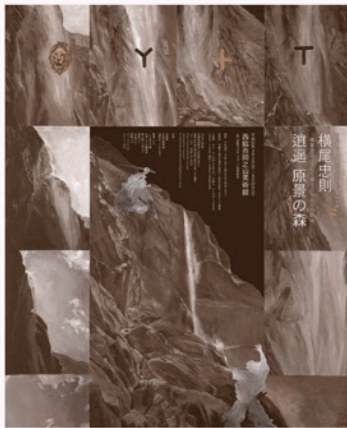
西脇市岡之山美術館・開館25周年特別展

第50回企画展

横尾忠則・逍遙 原景の森

画家宣言・そして描くことからの開放 ～9月27日(日)

開館25周年を記念して、1982年の画家宣言から現在までの絵画が、どのようにして展開していったのか。8号から300号相当の絵画作品14点とシルクスクリーン版画作品9点の展示によって、西脇の原体験とも言える子ども時代の回想とその後の世界を主張する展覧会です。



Y + T

開館時間/午前10時～午後5時(入館4時30分まで)
入館料/大人310円(260円) 高・大学生210円(160円)
小・中学生110円(80円) (20名以上団体割引料金)
休館日/月曜日(祝日の場合は翌日)・祝日の翌日、8月は休館なし
URL><http://www.nishiwaki-cs.or.jp/okanoyama-museum/>
ホームページにも載っておりますので是非ご覧ください。
(ブログを開設いたしました。)

開館25周年記念

アトリエシリーズ

it time in origin-Nishiwaki

vol.5 ● 6月28日(日)～7月18日(土)

天野 潮彦展(洋画)

vol.6 ● 7月19日(日)～8月8日(土)

小澤 保彦展(デザイン)

vol.7 ● 8月9日(日)～8月29日(土)

細川 勝展(洋画)



vol.5



vol.6



vol.7

9月1日(火)～9月27日(日)

美術館講座 講座生作品展
(アトリエシリーズは無料です)

★みて★きいて★ 第11回 あなたが主役 フェスティバル

2009年8月2日(日) 西脇市民会館

★ステージ★

大ホール(9:30～12:00/12:30～16:30) **入場無料**
銭太鼓、舞踊、クラシックバレエ、ジャズダンス、ヒップホップダンス

西脇市民会館 ☎0795-22-5715

★子供映画会★

中ホール(10:00～/13:00～) **入場料 200円**
アンパンマン、サザエさん、ちびまる子ちゃん、ゲゲゲの鬼太郎

★手作り趣味の市★

1Fロビー、出入り口(9:30～16:30)
編みみピーズ、パッチワーク、袋小物、手作りとんぼ玉、レザークラフト、
アクセサリー、ガラス工芸、竹細工、etc...

★100金遊び市★

第一会議室(9:30～16:30) **1回 100円**
ヨーヨーつり、スーパーボールすくい、わたがし、金魚すくい、わなげ、etc...

宝くじ文化公演

半径5メートルを
ハッピーに!

はた まり こ 秦 万里子コンサート

秦万里子の愉快で楽しいピアノステージ
半径5メートル以内の日常の出来事
主婦の本音と身の回りの喜怒哀楽をピアノにのせて!!
元気な歌声と愉快なトークをお楽しみください。

日 時...9月26日(土)午後2時開演(午後1時30分開場)

会 場...西脇市民会館大ホール

入場料...〔全席自由〕一般 1,500円・高校生以下 1,000円(当日各500円増)

※宝くじの助成により、通常料金の半額以下となっています。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

■チケット発売日/7月17日(金)午前9時から

■チケット販売所/市民会館、アピカホール、総合市民センター、黒田庄公民館

■お 問 い 合 せ/西脇市民会館(TEL0795-22-5715)

■主 催/西脇市・西脇市教育委員会・(財)西脇市文化・スポーツ振興財団
兵庫県・(財)自治総合センター



宝くじは
誰か若くは
子供が当たる。
宝くじは
みんなの宝。

